

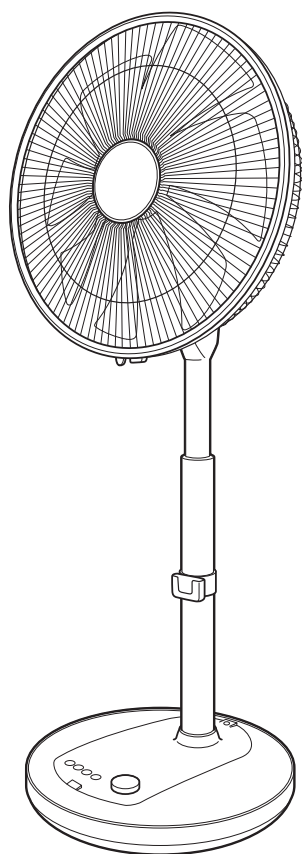
siroca crossline

リビング扇風機

SLS-2724WBK

取扱説明書

保証書つき



このたびはsiroca crossline リビング扇風機 SLS-2724WBK
をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前
にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

お
使
い
に
な
る
前
に

安全上のご注意 2

仕様 4

各部のなまえ 5

使
い
か
た

組み立てかた 6

取りはずしかた 8

使いかた 9

使い終わったら 10

ご
愛
用
の
手
引
き

お手入れ／保管のしかた 11

故障かなと思ったら 12

長期使用製品安全表示制度
に基づく本体表示について 13

アフターサービス 14

お客様相談窓口 14

保証書 16

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならない
でください。

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

	警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	取り扱いを誤った場合、障害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

	(         
---	--

◆ AC アダプターについて ◆



ぬれ手禁止

ぬれた手で AC アダプターの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

AC アダプターのコードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

AC アダプターを破損するようなことはしない

AC アダプターのコードやプラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む など



禁止

AC アダプターを子どもになめさせない

子どもが誤ってなめないように注意してください。

感電やけがの原因になります。



禁止

持ち運ぶときや収納するときは AC アダプターのコードを引っ張らない

コードがショートや断線して火災・感電の原因となります。



禁止

コードを突っ張った状態で使用しない

コードがショートや断線して火災・感電の原因となります。



禁止

コードをステップルや釘などで固定しない

コードがショートや断線して火災・感電の原因となります。



禁止

コードをベースなどで踏みつけたままにしない

火災・感電の原因となります。



禁止

AC アダプターを他の機器に使用しない

火災・感電・故障の原因になります。



AC アダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



AC アダプターのプラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは拭き取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

AC アダプターを抜くときは、コードを持たずに必ずアダプター本体を持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず AC アダプターをコンセントから抜く

感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

雷が鳴り出したら運転を停止して、AC アダプターをコンセントから抜く

火災・感電・故障の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は AC アダプターをコンセントから抜く

使用後は必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、AC アダプターを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

⚠ 注意

◆ 羽根・ガードについて ◆



禁止

羽根・ガードを取りはずした状態で運転しない

けがの原因になります。



禁止

組み立てる前に支柱を立てたり、AC アダプターを差し込んだりしない

ショート・感電・けがの原因になります。



接触禁止

ガードの中や可動部へ指などを入れない

重大なけがの原因になります。特に子どもには注意してください。



禁止

使用中にガードを持って、上下左右に風向きを変えない

けが・故障の原因になります。

◆ 使用上の注意事項 ◆



接触禁止

使用後しばらくは、モーター軸に直接触れない
高温のため、やけどの原因になります。



禁止

カーテンなどの障害物の近くや不安定な場所では使わない

転倒して、羽根の破損・けがの原因になります。



禁止

風を長時間、体に直接当てない

健康を害する原因になります。特に、乳幼児・お年寄り・ご病気のかたは注意してください。



禁止

ベースを付けずに運転しない

転倒して、けがの原因となります。



禁止

組み立てた状態では輸送しない

破損の原因となります。



禁止

首振り運転中は、無理に向きを変えない

破損の原因となります。



本製品を絶対に業務用に使わない
本製品は一般家庭用です。業務用にお使いになると無理な負担がかかり、火災・故障の原因になります。



羽根・ガードを取りはずした状態で高さ調節ボタンを押さない
モーター部が飛び出して、けがの原因になります。



殺虫剤・整髪料・掃除用具などのスプレーをかけない
樹脂や塗装部分が変質したり、破損したりする原因になります。



動植物に直接風を当てない
害を与えるおそれがあります。



この商品の近くで、無線機器（アマチュア無線・パーソナル無線など）を使用しない
誤作動の原因になります。



入タイマー設定中は、羽根・ガードに触れない
羽根が回り始め、けがの原因となります。



組み立てるとき・お手入れするときは、モーター軸を目や顔に近づけない
先端に接触してけがの原因となります。



長時間直射日光に当てない
変色などの原因となります。



テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わない
電波が弱いときや室内アンテナを使っているときに、雑音が入ることがあります。影響のないところまで離れてご使用ください。



パイプに油などを付けない
破損・けがの原因になります。



フローリング床をワックスがけした後は、ワックスが十分乾いてから製品を置く
あとが付いたり、ワックスが剥がれる原因となります。



本体を移動するときは引きずらない
床面や畳に傷が付く原因になります。



ガードに髪などを近づけない
巻き込まれて、けがの原因になります。



製品の組み立ておよびお手入れは取扱説明書通りに行う
部品がはずれ、けがの原因となります。



お手入れは冷めてから行う
モーター軸の高温部に触れ、やけどの原因になります。



丈夫で水平な床面に置く
不安定なところに置くと、転倒して、けがの原因になります。



市販の保護ネットを取りつけるときは、たるみがないようにする
たるみがあるとガードに吸い込まれ、羽根の破損・けがの原因になります。



本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する
羽根やガードがはずれたり、落下によりけがをする原因になります。



リモコンを廃棄するときは電池を抜き、各自治体の指示に従い処分する
そのまま廃棄すると思わぬ事故の原因となります。

仕様

品名（型番）	siroca crossline リビング扇風機 (SLS-2724WBK)
サイズ（約）	幅 41 × 奥行 35.5 × 高さ（最大） 107cm
電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	30W
風速（約）	最低 1.8m/s、最高 5.4m/s

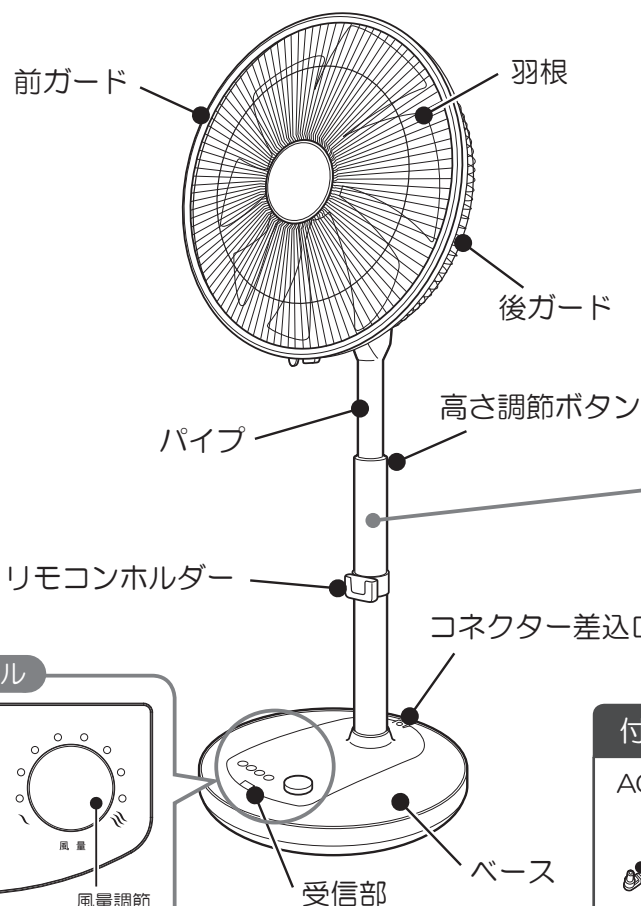
風量（約）	55m ³ /min
重量（約）	5.0kg（AC アダプター含まず）
コード長さ（約）	1.8m
付属品	リモコン、ボタン型リチウムイオン電池 CR2025（リモコン装着済み）、リモコンホルダー、AC アダプター
生産国	中国



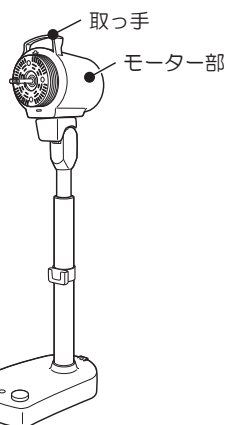
この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

各部のなまえ

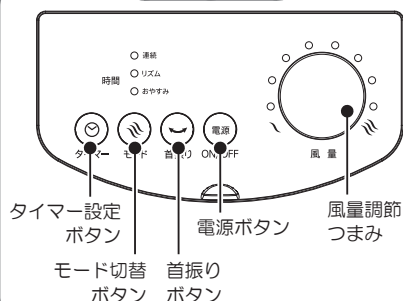
本体



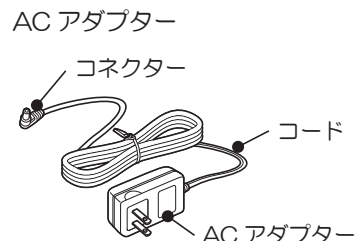
支柱



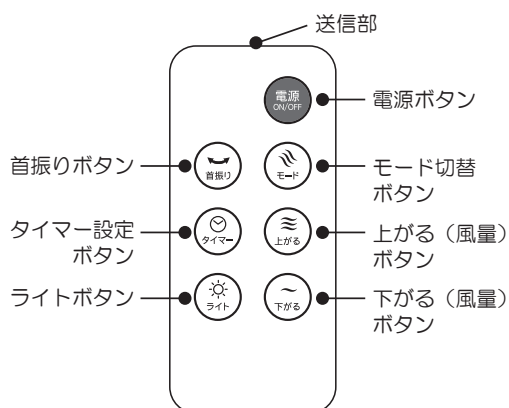
操作パネル



付属品



リモコン



※リモコンは、リモコンホルダーに収納できます。

リモコンの使いかた

リモコンをお使いになる前に、裏面の絶縁シートを引き抜く
●電池はリモコンに入っています。テスト電池のため寿命が短くなっている場合があります。

リモコンの操作方法

●運転や設定をするときは、リモコンの送信部を本体の受信部に向けて、ボタンを押します。

※リモコンを操作できる範囲は約3mです。

※以下のような場合は、リモコンの操作ができないことがあります。

- 本体の受信部とリモコンの間に障害物(羽根・ガード含む)がある場合
- インバーター照明器具、電子瞬時点灯照明器具をお使いの場合
- 本体の受信部に直射日光などの強い光が当たっている場合



※リモコンの送信部に傷を付けしないでください。
※リモコンのボタンを、2つ以上同時に押さないでください。

組み立てかた



※ 組み立てる前に支柱を立てたり、AC アダプターを差し込んだりしないでください。ショート・感電の原因になります。

※ 羽根・ガードを取りはずした状態で運転しないでください。モーター部が飛び出して、けがの原因になります。

※ 本製品が入っていたダンボール、発砲スチロールやポリ袋などの梱包資材は、シーズンオフの収納のために、捨てずに保管しておいてください。

1 支柱をベースに取りつける

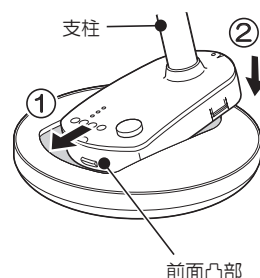
① 安定した平らな場所にベースを置き、支柱前側の凸部をベースにはめ込む

② 支柱後側をベースにカチッと音がするまで押し込む

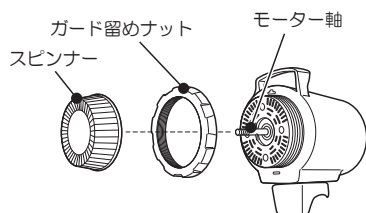


※ 本体は安定した平らな場所に置いてください。不安定な場所に置くと、転倒して、けがの原因になります。

※ 支柱はしっかりと押し込み、ベースに固定されていることを確認してください。きちんと固定されていないと、支柱を持ち上げたときにベースからはずれて、けがの原因になります。



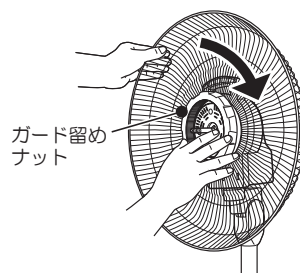
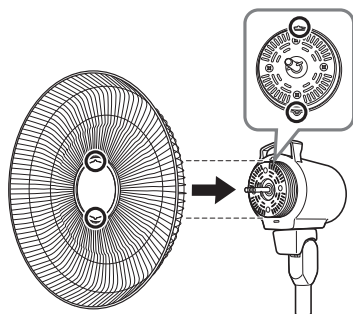
2 モーター軸から、スピナーとガード留めナットをはずす



3 後ガードをモーター部に取りつける

① 後ガードの2箇所の丸穴をモーター部の凸部に合わせて差し込む

② 片手で後ガードを押さえながら、モーター軸にガード留めナットを差し込み、右方向に回してしっかりと固定する



※ 梱包時は前ガード・後ガードがクリップで固定されており、羽根がその中に入っています。各パーツを取りはずしてから、組み立てを行ってください。

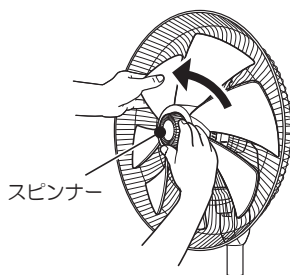
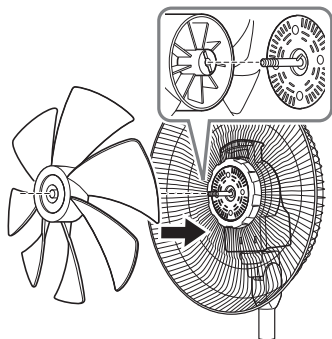


※ ガード留めナットは、確実にしっかりと固定してください。ガードがはずれて、けがの原因になります。

4

羽根を取りつける

- ① モーター軸の回り止めピンと羽根裏側の凹部の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差し込む
- ② 片手で羽根を押さえながら、モーター軸にスピナーを差し込み、左方向に回してしっかりと固定する



※羽根は必ず表側を前にして、正しい向きに取りつけてください。

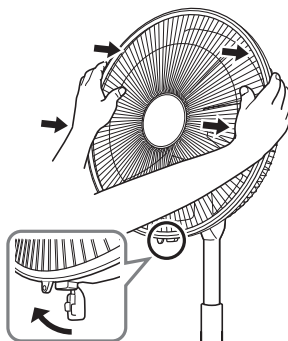
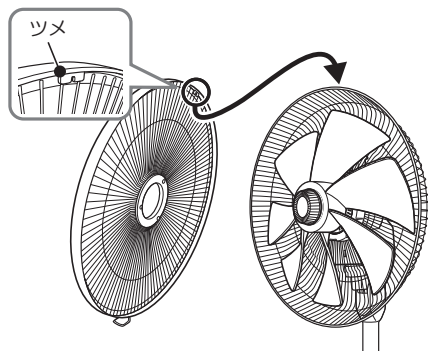


※スピナーは確実にしっかりと固定してください。羽根がはずれて、けがの原因になります。

5

前ガードを取りつける

- ① 前ガードをクリップ部が下になるように持ち、上部のツメを後ろガードの上部に合わせる
- ② 4箇所のフックを押してしっかりとめ込み、前ガード下部にあるクリップで固定する

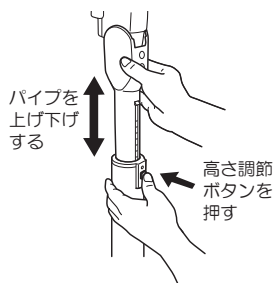


※前ガードのフック4箇所を確実に後ガードにはめ込んでください。ガードがはずれて、けがの原因になります。

高さを調節するとき

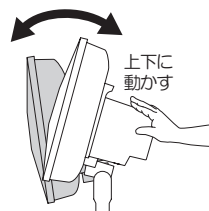
片手で支柱後側の高さ調節ボタンを押しながら、もう一方の手でパイプ部分を上げ下げして、高さを調節する

※高さ調節ボタンを押さない状態でも、上から力をかけるとパイプの高さが低くなりますが、故障ではありません。



風向きを調節するとき

モーター部を軽く押さえ、上下に動かして、お好みの向きに調節する



※運転中にガードを持って、上下に動かさないでください。けがの原因になります。

取りはずしかた



※ 各パーツの取りはずしは、必ず AC アダプターをコンセントと本体のコネクター差込口から抜いてから行ってください。

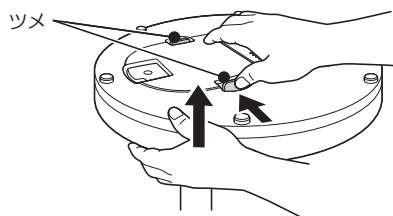
1 6～7 ページ「組み立てかた」の手順 2～5 と逆の手順でガードと羽根を取りはずす

※ ベースと支柱を取りはずす前に行ってください。

2 ベースから支柱をとりはずす

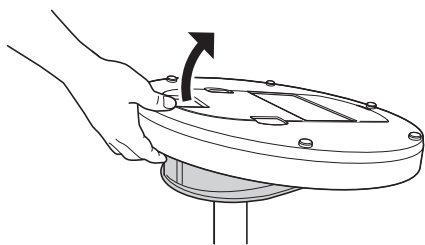
① ベースを上にした状態で、支柱をしっかりと支える

② 片手でツメを押しこみながら、もう片方の手でベースを引き上げてツメを外す



③ ②と同様にして反対側のツメを外す

④ 支柱を押さえながら、ベースを取りはずす



使いかた

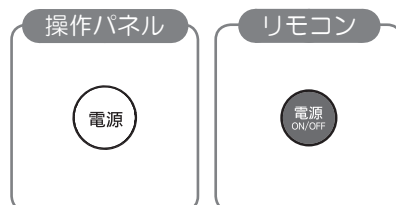
1
本体のコネクター差込口、コンセントの順に AC アダプターを差し込む

2
電源ボタンを押して、電源を入れる

- “ピッ” という音がして、運転が開始します。
- 初期状態では、風量は「レベル 1（最弱）」、運転モードは「連続」に設定されています。
- 再度電源ボタンを押すと、運転が停止します。

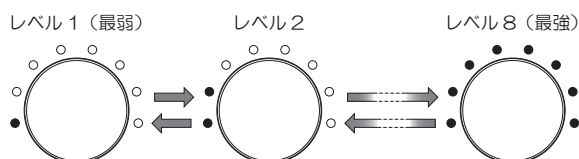
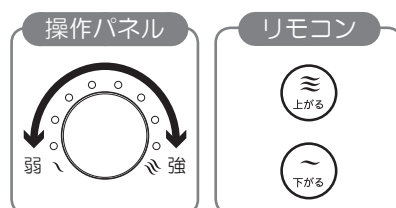


※ 運転を開始するときは、最初に電源ボタンを押してください。
他のボタンを押しても運転は開始しません。



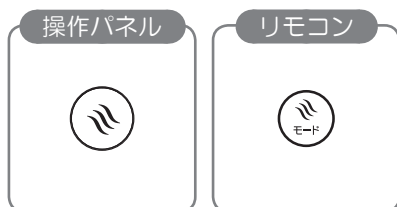
3
風量を調節する

- 操作パネルの場合は、風量調節つまみを右回りに回すと、風量が 1 段階ずつ強くなります。
左回りに回すと、風量が 1 段階ずつ弱くなります。
- リモコンの場合は、(上) を押すと、風量が 1 段階ずつ強くなります。(下) を押すと、風量が 1 段階ずつ弱くなります。
- 風量は 8 段階に設定できます。風量レベルに応じて、風量表示ランプが点灯します。



運転モードを切り替える

モード切替ボタンを押すと、「連続」、「リズム」、「おやすみ」の 3 つの運転モードを切り替えることができます。

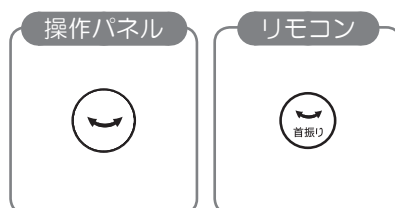


連 続 … 同じ風量で連続して風を送ります。
リ ズ ム … 風量に変化をつけたリズムカルな風を送ります。
おやすみ … 設定した時点の風量で「リズム」モードでの運転を開始し、30 分ごとに 1 段階ずつ風量を上げていきます。風量「1」まで下がったら、そのままの風量で「リズム」モード運転が続きます。

- モード切替ボタンを押すごとに、
「リズム」→「おやすみ」→「連続」の順番で運転モードが切り替わります。
- 操作パネルに、選択した運転モードのランプが点灯します。

首振り運転にする

左右の首振り運転を設定できます。

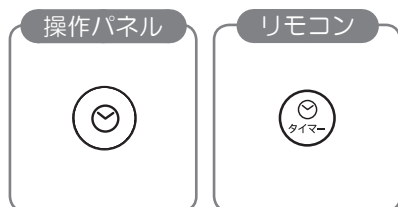


- 首振りボタンを押すと、左右の首振り運転が開始します。
- 再度首振りボタンを押すと、首振り運転が停止します。

使いかた

入 / 切タイマーを予約する

予約した時間になると、自動で運転スタート（入タイマー）又は停止（切タイマー）するように設定できます。入タイマーの予約は停止中に、切タイマーの予約は運転中に、それぞれタイマー設定ボタンを押して行います。



【切タイマー】

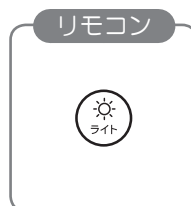
- 運転中にタイマー設定ボタンを押して、自動的に運転が停止するまでの時間を設定してください。時間はタイマー設定ボタンを押すごとに、□0.5 → 1.0 → 1.5 → … → 7.5 → 00 □の順番で切り替わります。
- タイマーは0.5時間から7.5時間までの範囲（30分単位）で設定できます。
- 風量・運転モードは、設定時の状態が保持されます。
- 切タイマーの予約を解除する場合は、切タイマーの時間を「00」に設定し直してください。
- 電源を切ると、切タイマーの予約も解除されます。

【入タイマー】

- 停止中にタイマー設定ボタンを押して、自動的に運転がスタートする時間を設定してください。設定方法は切タイマーと同じです。

操作パネルのライトを消灯して運転する

おやすみ時など、明かりが不要な場合は、操作パネルのライトを消灯した状態で運転できます。

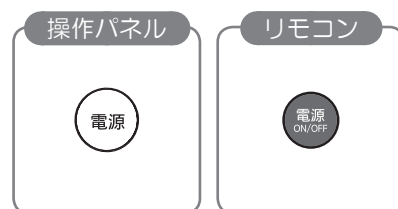


- リモコンのライトボタンを押すと、操作パネルのライトが消灯します。
- ライトボタンは、リモコンのみにあります。操作パネルからは操作できません。
- 再度ライトボタンを押すと、操作パネルのライトが点灯します。
- ライトが消灯した状態で他のボタンを押すと、操作パネルのライトが点灯します。

使い終わったら

1 電源ボタンを押して、電源を切る

- “ピッ”という音がして、運転が終了します。



2 コンセント、本体のコネクター差込口の順に AC アダプターを抜く

お手入れ／保管のしかた

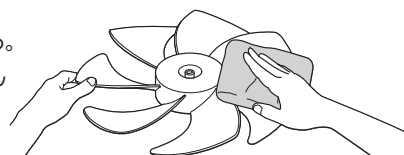


- ※ お手入れは、必ず AC アダプターをコンセントと本体のコネクター差込口から抜き、各パーツを組み立てとは逆の手順で取りはずしてから行ってください。
- ※ 本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、本体や操作パネルに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- ※ シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。

お手入れする

パイプ・ガード・ベース・羽根

- 柔らかいふきんを水またはぬるま湯にひたして固く絞り、汚れを拭き取る。
- 汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯にふきんをひたして固く絞り、汚れを拭き取る。



モーター部

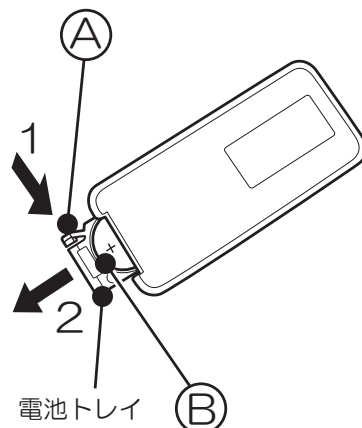
- 掃除機でほこりを吸い取る。
- モーター軸の汚れは、柔らかいふきんで拭き取り、サビ防止のためにミシン油を薄く塗る。
※ モーター部にほこりが多量に付着していると、異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。

保管する

- お手入れをした後、各パーツをダンボールに収納し、湿気の少ないところで保管する。
⇒ 各パーツの取りはずしについては、8 ページの「取りはずしかた」を参照してください。
- ※ 保管には、本製品が入っていたダンボール、発泡スチロールやポリ袋などの梱包資材をお使いください。ダンボールや梱包資材は捨てずに保管しておいてください。
- ※ 保管するときは、必ずリモコンから電池を取り出してください。電池が液漏れをすることがあります。

リモコンの電池を交換する

-
1 リモコンを裏返し、①の溝にツメを引っかけて、1 の矢印の方向に動かす
-
2 手順 1 の状態のまま、②の溝にツメを引っかけて、電池トレイを引き出す
-
3 古い電池を新しい電池に交換する
※ 電池の+側を上に入れてください。
※ 必ずボタン型リチウムイオン電池 CR2025 をお使いください。
-
4 電池トレイを「カチッ」と音がするまで差し込む



故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認くださいこと	直しかた
羽根が回らない。	AC アダプターが抜けていませんか。	AC アダプターをコンセントに確実に差し込んでください。
	AC アダプターのコネクターが本体からはずれていませんか。	AC アダプターのコネクターを本体のコネクター差込口に確実に差し込んでください。
	スピナーが緩んでいませんか。	羽根をスピナーでしっかりと取りつけ直してください。
羽根は回るが異常な音がある。	スピナーが緩んでいませんか。	羽根をスピナーでしっかりと取りつけ直してください。
	ガードがしっかりと固定されていますか。	前ガードのツメとフックを後ガードに確実にはめ込んでください。
リモコンで操作できない。	受信部に向けて操作していますか。	リモコンを本体の受信部に向けて操作してください。
	電池は消耗していませんか。	新しい電池に交換してください。
	電池の入れかた（＋と－の方向）が間違っていないですか。	電池を正しい向きで入れ直してください。
運転が自動的に止まる。	切タイマーを設定していませんか。	切タイマーを解除してください。

こんなとき	理由
風量が変わる時の回転音が気になる。	風量が一時的に強まる時、モーターから“ウィーン”、“ウォーン”と音がすることがあります。 モーター特有の音で、異常ではありません。
首振りするときの動作音が気になる。	首振りの運転時に、“カタカタ”、“コトコト”と音が一時的に強まるがあります。 首振りモーター特有の音で、異常ではありません。
首振りが一時的に止まる。	首振りの角度が両端のとき、一時的に止まるがあります。 首振りモーターが位置を確認するために一時的に空回りしているため、異常ではありません。

別売品

劣化・損傷したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

別売品	部品コード
リモコン	SLS-2714RC
AC アダプター	SLS-2714AC

長年ご使用の扇風機の点検を！

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。
誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ AC アダプターやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報の取り扱いについて

- 株式会社オークセール（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

- 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦 4 桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】本体に表示してあります。
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証するものでもありません。

標準使用条件

日本電気工業会自主基準 HD-116-3 による

環境条件	電圧	100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	製品の取扱説明書による (水平で安定した場所)
負荷条件		定格負荷（風速）	製品の取扱説明書による
想定時間等	1 日あたりの使用時間	8（時間／日）	
	1 日の使用回数	5（回／日）	
	1 年間の使用日数	110（日／年）	
	スイッチ操作回数	550（回／年）	
	首振り運転の割合	100（%）	

※ 環境条件の温度 30℃、湿度 65%は、JIS C 9601 の試験状態を参考としています。

※ 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火／けが等の事故に至るおそれがあります。

※ “経年劣化” とは、長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から 1 年未満）の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から 1 年以上）修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から 1 年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

この扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

＜サポートセンター＞

TEL: 03-5413-6125

FAX: 03-5413-6128

E-mail でのお問い合わせ: info@aucsale.com

受付時間: 午前 10 時～午後 5 時

（土・日・祝祭日、年末年始および弊社指定休業日を除く）

＜修理センター＞

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山 648-5
株式会社オークセール

サポートグループ返品・修理センター

サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ サポートセンターおよび修理センターの電話番号／FAX 番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

siroca の最新情報はこちらでチェック！

 siroca 公式
 Facebook(フェイスブック)
<http://www.facebook.com/siroca.jp>

 チーム siroca のブログ
<http://ameblo.jp/siroca/>

 AucSale サポートストア
<http://aucsale.jp/>

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.